

福祉 ぐんま

NO. 247
2014 冬号

 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



■主な内容

- *平成25年度虐待防止セミナー…2
- *年頭のさあいさつ…3 *第4回経営協セミナー…3
- *群馬県社会福祉大会…3
- *介護支援専門員実務研修受講試験と実務研修…4~5
- *明和町イメージキャラクター…5
- *ボランティア情報…6~7
- *素敵な笑顔…8
- *「福祉の仕事相談コーナー」ご案内…8
- *福祉まめ知識…8

鼻高保育園 保育士
小池 里実さん
(関連記事は8ページに掲載)

平成25年度

虐待防止セミナー実施

共同募金配分金事業

県社協では、11月を中心に「家庭や福祉施設から暴力をなくすキャンペーン月間」として位置づけ、虐待や悪質商法被害の防止、早期発見・対応に向けた取り組みを図り、県民一人ひとりが、住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう「誰もが安心して暮らすことのできる地域社会」を目指して、集中的に虐待防止に関するセミナーを開催し、虐待防止に関する意識の向上を図っております。



児童虐待防止セミナー (仲村先生)



高齢者虐待防止セミナー (平田先生)

11月12日には、「高齢者虐待の防止と権利擁護」とのテーマの下、明治大学法科大学院・教授／弁護士平田厚氏から、11月19日には、「児童虐待防止と女性と子どもの人権を守るために」とのテーマで、NPO法人サバイバルネット・ライブ代表である仲村久代氏より、講演をいただきました。

平田先生からは、高齢者虐待の仕組みや背景、支える仕組みについてわかりやすく説明いただきました。

11月12日には、「高齢者虐待の防止と権利擁護」とのテーマの下、明治大学法科大学院・教授／弁護士平田厚氏から、11月19日には、「児童虐待防止と女性と子どもの人権を守るために」とのテーマで、NPO法人サバイバルネット・ライブ代表である仲村久代氏より、講演をいただきました。

平田先生からは、高齢者虐待の仕組みや背景、支える仕組みについてわかりやすく説明いただきました。

「児童虐待防止と女性と子どもの人権を守るために」とのテーマで、NPO法人サバイバルネット・ライブ代表である仲村久代氏より、講演をいただきました。

平田先生からは、高齢者虐待の仕組みや背景、支える仕組みについてわかりやすく説明いただきました。

平成25年度 障害者虐待防止セミナー開催のご案内

【日時】平成26年1月20日(月)

13時30分～16時 ※開場12時50分

【場所】群馬県社会福祉総合センター8階 大ホール

【講師】会津大学短期大学部／教授 市川和彦氏

【演題】「障害者虐待防止と権利擁護について」(仮)

【定員】335名(定員になり次第、締切ります)

【参加費】無料

【対象】一般県民、民生委員、社会福祉施設等関係者、

市町村社協役職員、市町村行政職員、その他、セミナーに関心をお持ちの方

【連絡先】群馬県社会福祉協議会 福祉サービス支援課

TEL 027-255-6226

FAX 027-255-6173

年頭のごあいさつ



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 下城 茂雄

皆様方におかれましては、平成26年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。今年の干支は午ということで、群馬の年であり、飛躍の年であります。この1年が皆様方にとって素晴らしい年となります。この1年が皆様方にとって素晴らしい年となります。この1年が皆様方にとって素晴らしい年となります。

さて、急速に進む少子高齢化をはじめ、社会・経済状況が大きく変化する中で、孤立や困窮など、さまざまな福祉課題・生活課題が生じておりますが、これらの多くは、人間関係の希薄化、家庭の機能低下、地域社会の機能の脆弱化と深く関わっているものと考えられます。

早いもので、東日本大震災から2年9か月が経過いたしました。

我々は、これからも被災された方や被災地に寄り添い、息の長い支援を続けていきますが、大震災で再認識された、地域社会のあらゆる人々が、福祉の担い手となって、互いに助け合い、支え合う体制の再構築に、責務として取り組んでいかなければなりません。

これからも、「県民だれもがともに支え合い、住みながら家庭、地域で、その人らしく、安心して暮らせる福祉社会」の実現に向けて、みんなで協力し、一歩一歩進んでいきましょう。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

『第4回経営協セミナー～あのタニタの成功法則を学ぶ～』を開催しました。

「群馬県社会福祉法人経営者協議会（県社協経営者部会）」と「群馬県社会福祉法人経営青年会」では、社会福祉法人を取り巻く様々な経営課題について研究協議し、社会の要請に応える社会福祉法人経営のあり方について学ぶことを目的に、経営協セミナーを実施しています。

今年度は、社員食堂や家庭用体脂肪計でお馴染みの株式会社タニタの筆頭株主である谷田昭吾氏を招き、「タニタの成功法則～赤字企業を世界一にした経営～」と題した講演会を開催しました。

谷田氏は、タニタを創業した故谷田五八士氏らを紹介した上で、成功の鍵は「体脂肪とは何か」との疑問や専門家との接点、他社との違いを作ろうとする行動が挙げられると話されました。



谷田昭吾氏

◎群馬県社会福祉法人経営者協議会（略して「県経営協」）とは

県内社会福祉施設の経営主体である社会福祉法人の機能強化と施設の健全経営のための基本的課題を調査検討し、かつ実践をはかり、広く成果を関係者に供して、本県社会福祉の発展に寄与することを目的に平成4年に設立された団体。現在170法人が加入しています。

◎群馬県社会福祉法人経営青年会とは

県経営協の内部組織として、次代を担う51歳以下の若手法人経営者等の研鑽、リーダーとしての資質向上を目的に発足。今後、法人・施設の中核で活躍を期待される方を広く対象として、幅広い活動を展開しています。現在、会員数は41名です。

- 平成25年11月25日(月)前橋市民文化会館にて開催されました
県・県教育委員会・県社会福祉協議会・県共同募金会共催の「平成25年度群馬県社会福祉大会」では、俳優で国連開発計画(UNDP)親善大使の紺野美沙子氏による記念講演「人と人が支え合う世界」の後、県内の社会福祉の発展に功績のあつた方々への表彰・感謝が行われました。
- 県知事表彰 318名(団体)
 - ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰 2名
 - 福祉ボランティア顕彰 29名(団体/校)
 - 県社会福祉協議会会長表彰・感謝 369名(団体)
 - 県共同募金会長表彰・感謝 5名(団体)
- また、式典の最後には、福祉ボランティア顕彰を受けた小学校2校(高崎市立下室田小学校、沼田市立薄根小学校)より、小学生による活動発表がありました。



群馬県社会福祉大会開催報告

介護支援専門員実務研修受講試験と実務研修

介護支援専門員は、「要介護者等からの相談に応じ、要介護者等がその心身の状況等に応じ適切なサービスを利用できるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、市町村、介護サービス事業者との連絡、調整等を行う者で、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識・技術を有するものとして介護支援専門員証の交付を受けたものをいう。」と介護保険法に定められています。

通称ケアマネジャーとも呼ばれている介護支援専門員になるには、第一に、都道府県の実施する試験（介護支援専門員実務研修受講試験）に合格すること、第二に、8日間（48時間）の研修（実務研修）の全日程を受講しなければなりません。

介護支援専門員実務研修の登録・任用は各都道府県で行いますが、本県では、群馬県社会福祉協議会が「指定試験実施機関」と実務研修等に係る「指定研修実施機関」の指定を受け、試験と実務研修の両方を実施しています。

今回は、この介護支援専門員実務研修受講試験と介護支援専門員実務研修について、まとめてみました。

●試験の概要

試験は毎年10月の日曜日に実施されます。

試験問題は、介護支援分野（介護保険制度、要介護認定等、居宅サービス計画等から25問）と保健医療・福祉サービス分野（保健医療サービスの知識等の基礎15問、総合5問、福祉サービスの知識等から15問）から出題され、全部で60問、一〇〇分で行われますが、他の資格試験と大きく異なるのは、医師、看護師、介護福祉士等の法定資格

所持者については、解答免除される分野があることです。

例えば、看護師は保健医療サービスの知識等の基礎部分の15問が解答免除になります。介護福祉士は福祉サービスの知識等の15問が免除されます。両者とも60問中、15問の1/4が免除されるため、試験時間も一〇〇分ではなく、九〇分と短縮されます。因みに医師は、保健医療サービスの知識の基礎の15問と総合の5問の20問が免除されるため、試験は40問で八〇分となります。このように試験は保有

平成25年群馬県介護支援専門員実務研修受講試験
資格種別合格者構成率

資格種別	受験者数	合格者数	合格者構成率
歯科医師	3	0	0.0%
看護師	162	21	5.6%
准看護師	69	7	1.9%
薬剤師	8	1	0.3%
保健師	10	5	1.3%
理学療法士	28	6	1.6%
作業療法士	27	11	2.9%
言語聴覚士	6	2	0.5%
歯科衛生士	25	3	0.8%
柔道整復師	7	0	0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7	4	1.1%
はり師	4	0	0.0%
(管理)栄養士	42	11	2.9%
介護福祉士	1,659	245	65.5%
社会福祉士	80	35	9.4%
精神保健福祉士	5	2	0.5%
相談援助業務	58	16	4.3%
介護等業務	75	5	1.4%
※合計	2,275	374	100%
実人数	2,241	366	-

※複数の法定資格を有する者については、各資格において計上しているため、合計の人数は実人数とは異なります。

年度別、試験受験者及び合格状況

実施回	実施年度	受験者数	合格者数	合格率
7回	16年度	1,873	545	29.1%
8回	17年度	2,042	547	26.8%
9回	18年度	2,059	403	19.6%
10回	19年度	2,205	473	21.5%
11回	20年度	2,109	401	19.0%
12回	21年度	2,204	515	23.4%
13回	22年度	2,204	458	20.8%
14回	23年度	2,236	338	15.1%
15回	24年度	2,324	460	19.8%
16回	25年度	2,241	366	16.3%

する法定資格の有無によって6つに区分され、それぞれの区分毎に合格基準が設定されます。合格するにはこの基準をクリアする必要があります。

●試験受験資格

試験を群馬県で受験するには、群馬県内で受験対象業務に従事されている方、受験対象業務に従事されていない方は、所在地(住民票)が群馬県内にある方となります。

受験資格は、詳細に定められていますが、大まかに受験対象の業務に従事者は10年なおかつ一八〇〇日以上、相談援助従事者は5年なおかつ九〇〇日以上勤務している必要があります。ただし、定められた法定資格等があれば介護従事者であっても5年なおかつ九〇〇日以上に短縮されます。

●実務研修について

試験の合格発表は十二月にあります。翌年の一月から試験合格者を対象に実務研修が開催されます。研修内容は、「介護保険制度の理念と介護支援専門員の役割」、「ケアマネジメントの基本」から始まり介護支援専門員として身につけなければならない

い、大凡の基礎が講義と演習により一日6時間、平日の8日間に実施され、全ての過程を修了しなければ、介護支援専門員としての業務に就くことができません。試験には合格したけど、今すぐに介護支援専門員の業務に就く予定のない方については、8日間も仕事を休めず研修を断念するケースも多くあります。

●実務研修後の更新

介護支援専門員実務研修受講試験と実務研修を経て、やっと介護支援専門員証を手に入れても、その一年以内に基礎研修(任意、平日6日間)と5年毎に更新研修(必須、平日8日間)を受講しなければ、介護支援専門員として業務に従事することができなくなります。一方、介護支援専門員が所属する居宅介護支援事業者は、「その研修の機会を計画的に確保しなければなりません。」と法令で定められており、職員を研修に参加させる義務があります。それは介護支援専門員は、要介護者を支える公的介護制度の核となつている介護保険制度の根幹をなしているといっても過言ではなく、それだけの高い人間性と広い見識が求められているからです。



明和町社協「キクちゃん」誕生の由来

私は、鶴舞う形の群馬県の首の方(東南端)に位置する明和町に住んでいる福祉の妖精「キクちゃん」って言います。「キク」という名前は、頭に被っている明和町の町花「菊」の花からきていますが、いつでも町民の声を大切にする、話を「聞く(キク)」という意味も込められています。手に持っているハートは優しさと福祉の心を表現したものです。子どもからお年寄りまで幅広く親しみを持って頂ける愛らしいキャラクターを目指して頑張っています。

今後の「キクちゃん」の目標

いままでの社会福祉協議会は縁の下の力持ちの精神で、あまり表に出ることのない組織でありました。しかし、今後、社協が事業展開を行っていくには、住民の皆様の更なる協力なくしては運営できなくなりつつあります。そのためには魅力的で明るく開放的な社協として存在をPRしていく必要があります。そこで、私達キャラクターがその一因を担い、住民や各団体等が社協に目を向けるようなPRのために努力をして行けたらいいなと思っています。県内のマスコットキャラクターの先輩と一緒に皆さんに応援していただけるようよろしくお願いたします。



Hello! ボランティアセンター

沼田市ボランティアセンター

沼田市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内の小中学校において福祉体験学習の支援を行っています。

福祉体験の際には、子どもたちが効果的に授業ができるように、福祉教育サポーターに参加していただいています。

毎年開催している福祉教育サポーター養成講習会で福祉教育についての講義を受けたり学校で取り入れられている車イスや高齢者疑似体験の実技講習をし、修了者にはサポーターとして登録していただき、ボランティアとして、児童・生徒たちが「ふくし」について考えるきっかけになるお手伝いをいただいています。また地域の方と子どもたちが交流をする機会の一つにもなっています。



学校も公開日を使って親子体験をすることが多く、校長先生も参加してくださったり、先生方のアドバイスもいただきつつ、短い時間の中で楽しく貴重な体験になるよう心掛けています。今後も市内の小中学校で「ふくし」について考える機会が増えるように支援していきたいと思っています。

沼田市ボランティアセンター

〒378-0053 沼田市東原新町1801-72 沼田市社会福祉協議会内

TEL 0278-22-1990 FAX 0278-22-8402

ボランティア情報

収集ボランティア ～使用済み切手～

群馬県社会福祉協議会の一室で、昭和53年よりボランティアの方々により使用済み切手の仕分けボランティア活動が行われています。現在は4名のボランティアの方々が月に2～3回活動しており、昭和56年から現在まで継続してボランティア活動している方もいます。

個人や団体、企業、学校など県内外を問わずさまざまなところから送られてきた使用済み切手を、通常切手や記念切手、外国切手、破損切手等に仕分けしています。仕分けされた切手は、



業者に買い取っていただき、その収益は社会福祉振興基金に充てられ、社会福祉関係事業に役立てられています。また破損切手は、障害者



支援施設の薫英荘へ送り、スタンプアートの材料として活用していただいています。

▶お問い合わせ

群馬県社会福祉協議会 ぐんまボランティア・市民活動支援センター

TEL 027-255-6111 FAX 027-255-6444

社会福祉協力校

桐生市立相生小学校

1 学校の概要

本校は、開校129年に及ぶ歴史のある学校です。校区北に渡良瀬川が流れる自然に恵まれた、東武線や上毛電鉄等の鉄道も通る交通も発達した地域です。「心身共に健康で、自ら学ぶ意欲をもち、夢に向かってがんばる

子を育てる」という学校教育目標のもと、福祉教育では、明るく楽しく元気に登校できる児童の育成を目指し、地域の人や自然とのふれあいを大切にしながら、体験活動を通して豊かな心を育てていけるように取り組んできました。

2 取り組み内容

(1) 学習活動における福祉教育

一年生の生活科では、長寿会の方をお招きして、昔の遊びを教えていただきました。また、四年生の総合の学習では、車椅子や手話、シニア体験などを通して、福祉について学びました。

(2) 地域との関わり

運動会では、全校児童で招待状を書き、地域のお年寄りをお招きしました。来てくださった方に、三年生の児童が全校を代表して手紙を読みました。

業前の「相生読書の時間」には、地域ボランティアの方に読み聞かせをしていただいています。また、日頃お世話になっている方をお招きし、「ありがとう集会」を開き、全校児童で感謝の気持ちも伝えていきます。

公民館主催のふれあいフェスティバルには、PTAが模擬店を出し参加しました。金管バンドクラブも演奏を披露し、地域交流に努めました。

(3) 縦割り班活動・児童会活動

縦割り班活動では、仲間と協力して、校内や学校周りのクリーン清掃にも取り組みました。また、赤十字等の募金活動、校内の草花の栽培などにも力を注いでいます。

3 3力年の成果と課題

児童は地域の方とのふれあいや学習を通して、感謝の気持ちと豊かな心を育むことができました。異学年と助け合う体験を通して、福祉の心を培ってきました。今後も改善を図りながら、児童に自ら進んで活動できる実践的な態度や意識の向上がみられるように、なお一層の充実を図っていききたいと考えます。



長寿会の方と昔の遊びをしました。

共同募金の、新たな取り組みです。

期間：平成26年1月1日～3月31日

「つかいみちを選べる赤い羽根募金」

～あなたの意志が、社会を変える～

赤い羽根募金は、私たちの地域をより良くするためにがんばる人たちを応援する募金です。今回は、さらに積極的に応援するために、あなたの寄付が直接活動団体に届くプログラムをご用意しました。もっと社会がこう変わったらいいのに…と感じていることはありませんか？その思いを、ぜひ、私たちに託してください。いっしょに、社会を変えていきましょう！



寄付先団体 >> ①NPO法人手をさしのべて (不登校ひきこもりを含む子育て支援) / ②児童自立援助ホームぐんま風の家 (児童虐待等対応) / ③NPO法人群馬ダルク (薬物依存症回復支援) / ④NPO法人わんだふる (見守り・買い物支援) / ⑤ぐんま暮らし応援会 (被災者支援)

寄付方法 >> 郵便振替、クレジットカード等でご寄付いただけます。詳しくは群馬県共同募金会ホームページをご覧ください。

(ホームページwww.akaihane-gunma.or.jp / お問い合わせTEL027-255-6596)

鼻高保育園 保育士 小池 里実さん

冬号表紙

素敵な笑顔

高崎市鼻高町の保育園で働く小池里実さん。保育士になって6年目になり、現在は年中さん21名を担当しています。



関係をちゃんとつくれた時には、この仕事をしていてよかったな、と思います。

※保育士を目指したきっかけは？

小さい頃から幼稚園の先生になるのが夢だったんです。ずっと子どもと関わる仕事がしたいと思っていて、それで短大に進学して保育の勉強をしました。実習では幼稚園と保育園と両方行くのですが、その時に「赤ちゃんが好きだな」と思い、保育園に決めました。

※嬉しかった瞬間は？

行事ごとに成長が見られることですね。特に年中さんくらいになると子ども自身ができることが増えるということもあるんですけど、一生懸命頑張って成長が目に見えることが嬉しいし、かわいいです。だから行事を終えると私も子ども達も達成感でいっぱいなんです。それと、「先生のこと大好き」と言ってくれる時は、嬉しいですね。文字を書けるようになってきた子が「こいけんせい すき」とって手紙を書いてきてくれたんですよ。似顔絵を描いてきてくれる子もいて、いけないことをした時は、叱ったり注意したりもするんですけど、それでも先生のことを好きって言うってくれるので、そういう信頼

※今後の目標

経験を重ねてきて、今は心に余裕が出てきたかなと思います。初めは覚えることも多くて、まずは教えなきゃいけないっていうのがあったんですけど、だんだんと園全体を見渡せるようになってきました。今後は子ども一人ひとりをよく見てあげて、それぞれの子にあった育て方ができるようにしていきたいですね。教えなきゃいけないこともたくさんあるけど、それを子どもが楽しんでできるように、のびのびと育てることを心がけていきたいです。

※福祉職を目指している方へメッセージ

人と関わる仕事なので、大変なこともあります。子ども達や保護者の方々など様々な出会いがあるんですけど、それが自分にとって大切なものになっていきます。また、子ども達と触れあう中で、その子たちの成長を通して感じるものがたくさんあります。楽しいことがいっぱいあります！

20歳の頃からスノーボードを始め、毎年スノーボード仲間と尾瀬や水上まで滑りに行っている小池さん。仕事終わりの金曜日の夜に出発し、弾丸で滑りに行くこともあったそうです。とても明るく元気な印象でした。

「福祉の仕事相談コーナー」をご利用ください。

県内各所にキャリア支援専門員が出向き、福祉の仕事に関する個別相談を実施しています。

- 福祉の仕事内容や資格について知りたい
- 自分にあった就職先が知りたい
- 求人情報について知りたい

…など様々な相談に応じます。お気軽にご利用ください。

相談無料・予約不要・秘密厳守
安心してご利用ください。

福祉の仕事相談コーナー開設日

開設場所	開設日時	問い合わせ先
ハローワーク沼田	毎月第1水曜日 13時30分～15時30分	県福祉マンパワーセンター TEL 027-255-6600
ハローワーク渋川	毎月1回 日時はお問い合わせください。	
ハローワーク中之条	毎月第2・第4月曜日 13時30分～15時30分	
職業支援センターいせさき	毎月第4木曜日 13時30分～15時30分	高崎市福祉人材バンク TEL 027-324-2761
ハローワーク高崎	毎月第2・第4火曜日 13時30分～16時	
ハローワーク富岡	毎月1回 日時はお問い合わせください。	
ハローワーク安中	毎月第3火曜日 9時30分～11時30分	太田市福祉人材バンク TEL 0276-48-9599
ハローワーク桐生	毎月1回 日時はお問い合わせください。	
ハローワーク館林	毎月1回 日時はお問い合わせください。	

福祉まめ知識

Q 「ジェノグラムとエコマップの違いはなんですか」。

A ジェノグラムはひとことでは言えませんが一般的に男性は四角、女性は丸で表し、家族構成を一つの図にまとめたものです。語源には「遺伝子」という意味が含まれているようです。

一方、エコマップとはそのジェノグラムを中心として、家族を含めて病院や事業所等、関係機関等の社会資源を図式化したものです。語源はエコロジー。環境からきています。取り巻く環境を図式化したものです。

編集/発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033(代表)
FAX 027-255-6173
URL http://www.g-shakyo.or.jp/
発行日 平成26年1月1日